

40歳以降 検診が重要

今回は女性がかかるがんの中で最も多い乳がんを取り上げる。日本では、新たに診断される人数も死亡者数も増加傾向にあるが、早く見つけて治療すれば治る可能性が高い。大阪大の島津研三教授「乳腺内分泌外科学」写真に、治療法や早期発見のためにすべきことなどを聞いた。(山崎光祥)

乳がん



*大阪編170

大阪大 島津研三教授



——治療の基本は。

乳がんでは、同じく患者の多い肺がんとは異なり、ほとんどの手術の対象となります。悪性度が低く転移がなければ手術だけで治る可能性が高まります。ただし、がんのタイプや進行度によつては手術に加えて化学療法か、女性ホルモンを減ら

してがん細胞の増殖を抑えるホルモン療法、あるいは、その併用療法を行います。手術には、がんとその周囲のみ摘出してから、残した乳房に放射線を照射する温存療法と、乳房をすべて

切除する全摘手術があります。いずれでも失われた乳房の容積を補い、再建する

手術が行えます。

——温存療法の対象は。

▽しこりの直径がおおむね3センチまで▽乳頭から遠い▽複数のしこりがない——といった条件がそろい、術後も乳房をある程度きれいに保てそうな患者が対象です。手術したと分からないくらいきれいに仕上がることもあります。一方で放射線照射は必須で、放射線を当てなければ20%程度、当ても5〜10%は残った乳

房内で10年以内に再発するとされます。

——全摘手術とは。

温存療法が難しいか、温存後に再発した患者に行います。美容面が最大の欠点になる一方、乳房内で再発する危険性はほぼゼロになるので、放射線療法も基本的には不要です。

それぞれに利点と欠点がありますが、どちらの手術でも乳がんによる死亡率は変わりません。乳腺外科医からそれぞれの特徴をよく聞き、どちらの方法にするか、いつ受けるかを決めることが重要です。最近では各病院で形成外科医による再建手術が普及してきており、無理して温存せず、全摘手術と乳房再建を選ぶ患者も増えていきます。

——乳房再建の方法は。

患者自身の背中の筋肉や、おなかの脂肪、皮膚とといった「自家組織」か、シ

卵子凍結保存検討を

一覧表には、各手術実績のほか、将来、子どもを望む患者を対象に妊娠の機能「妊孕性」を残す治療の実施状況を掲載した。

抗がん剤は、卵巣にダメージを与え、治療後も月経が戻らないケースもある。

リコーン製の人工乳房を使います。自家組織の場合は、筋肉などを採取した際の傷痕が残ってしまいますが、乳房の形はより自然に近くなります。人工乳房では、事前に組織拡張器を入れて皮膚などを少しづつ伸ばす必要があるため、多くは手術が2回になります。

——早期発見には。25歳を過ぎれば、月1回程度は入浴時などに自分で乳房をくまなく触るセルフチェックをお勧めします。

そこで、薬を使う前に、卵子や卵巣組織を採取して凍結保存することを検討する。がん治療を受ける医療機関で対応していない場合、不妊治療クリニックなどを紹介してもらえらるかどうかが、主治医に相談しよう。

病院の実力「乳がん」

医療機関別2021年
治療実績（読売新聞調べ）

医療機関名	手術	うち全摘	再建手術		妊娠の機能を残す治療の実施状況(22年4月時点)
			自家組織	人工乳房	
	(件)	(件)	(件)	(件)	
大阪府					
大阪ブレストク	779	341	0	71	
大阪国際がんセ	501	216	48	31	
大阪医科薬科大	321	140	23	24	○
大阪大	290	140	94	18	○
関西医大	253	119	0	5	○
大阪公立大	215	83	15	2	
八尾市立	202	145	14	5	
近畿大	195	85	8	15	○
ベルランド総合	190	65	21	1	
北野	187	134	1	5	
大阪赤十字	166	86	3	5	
大阪労災	166	83	3	12	
大阪市立総合医療セ	163	86	0	1	
相原	156	52	0	7	
堺市立総合医療セ	147	88	3	0	
国・大阪医療セ	143	57	1	3	
大阪急性期・総合医療セ	128	40	1	1	○
市立岸和田市民	124	54	0	4	
関西医大香里	119	69	3	20	
淀川キリスト教	112	75	18	0	
JCHO大阪	110	48	2	0	
市立東大阪医療セ	105	45	0	0	
住友	103	31	0	3	
高槻	93	53	0	0	
市立豊中	92	52	0	2	
済生会中津	81	24	0	5	
府中	78	44	8	0	
乳腺ケア泉州ク	75	34	0	1	
松下記念	72	42	4	1	
大阪鉄道	65	20	0	0	
関西医大総合医療セ	64	48	7	9	
大阪はびきの医療セ	63	37	2	0	
りんくう医療セ	59	31	6	8	
泉大津市立	59	31	0	0	
箕面市立	50	31	2	3	
高槻赤十字	43	16	1	0	
耳原総合	41	21	0	0	
済生会吹田	39	16	0	0	
大阪中央	29	0	0	0	
八尾徳洲会総合	28	24	0	0	
千船	25	22	0	0	
大阪市立十三市民	7	4	0	0	

「国・」は国立病院機構、「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター、「ク」はクリニック。

全国の調査結果は20日の「安心の設計面」に掲載しました。